報告事項１　　（資料１）

令和６年度（第45期）事業報告

定款第55条の規定に基づき、令和６年度（第45期）の事業について、別紙１および別紙２のとおり報告いたします。

（別紙１）

令和７年５月１４日

一般社団法人 エネルギー・資源学会
令和６年度事業報告書
（自　令和６年４月１日　至　令和７年３月３１日）

１．はじめに

令和６年度は、世界的には、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルのガザ侵攻とも終息に至っていない。さらにアメリカでトランプ大統領が登場し、世界に新たな混乱の火種が生まれている。

また国内では、地球温暖化が要因とも言われる天候不順から野菜の高騰とともに米価高騰による令和の米騒動も起こり食料問題も深刻な事態になっている。

一方本会は、カーボンニュートラルや GX と言ったテーマに行事、会誌で様々な切り口で取り上げ、ソリューションの道を会員に提供していく必要がさらに増している。

２．企画関係事業実績

⑴ 研究発表会

第４３回エネルギー・資源学会研究発表会（以下、研究発表会）を８月６日・７日の２日にわたり、東京大学駒場Ｉキャンパスで開催した。

⑵ エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス

第４１回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス（以下、コンファレンス）を１月２８日・２９日の２日にわたり、東京大学生産技術研究所で開催した。

⑶ 特別講演会

研究発表会、コンファレンス開催に合わせてそれぞれ２件、１件の特別講演を実施した。

⑷ 研究プロジェクト

前研究プロジェクト「エネルギーのカーボンニュートラル化に関する調査研究」の内部報告書を作成し、本年度から新たに「カーボンニュートラルなエネルギー需給に関する調査研究」の第一期（前半）として国内の調査・研究を行った。

⑸ エネルギー政策懇話会

エネルギー政策懇話会を６回開催し、第３回のみ話題提供者を海外の方にお願いしたためオンラインとしたが、他は対面開催で交流会も実施した。

⑹ 研究部会

若手の会として、コンファレンス開催時にポスターセッション・グループディスカッションを実施した。

⑺ 研究委員会

「家庭部門の CO_2 排出実態統計調査利用研究会」は第５フェーズに入り、コンファレンスでは企画セッションも開催した。また、新たに「カーボンニュートラル社会実現のための標準化戦略」をテーマにした研究委員会を設けセミナーを開催、会誌では特集記事も掲載した。

⑻ 講習会・講座

第１回講習会「原子力エネルギー・次世代革新炉の概要」を２月６日に東京大学本郷キャンパスで開催した。

⑼ 研究会・見学会
第１回研究会「JERA 碧南火力発電所アンモニア転換実証試験」を見学会併催で３月２８日に開催した。
⑽ エネルギー施設の災害・安全対策研究会
１２月６日に福島第一原子力発電所等の見学会を実施した。
⑾ 共催行事への対応
他団体との共催行事を３回開催した。

３．編集関係事業実績
⑴ 会誌「エネルギー・資源」・電子ジャーナル「エネルギー・資源学会論文誌」の刊行
年６回奇数月の１０日に会誌・電子ジャーナルを刊行した。各号の特集は以下の通り。
２０２４年５月号　「進展する熱電変換技術」
７月号　「まちづくり GX 最前線」
９月号　「二酸化炭素分離・回収技術の新展開」
１１月号「原子力エネルギーの研究開発と人材育成」
２０２５年１月号　「バイオものづくり最前線」
３月号　「日本型標準加速化モデルに関する最近の動向と今後の見通し」
⑵ 投稿・採択された論文件数
令和６年度は、研究論文３３件、技術論文１３件（うち英文：技術論文１件）の投稿があった。また前年度からの査読分を含めて研究論文２１件、技術論文８件、展望・解説１件（うち英文：研究論文１件）が採択され、研究論文・技術論文は会誌に論文要旨が、J-STAGE 上の学会論文誌に論文本文が掲載された。

４．総務関係事業実績
第１３回学会貢献賞２件、第１２回茅賞２件、第１２回学生発表賞４件、第２０回論文賞２件の表彰を研究発表会の表彰式で行った。

５．主な会議開催実績
⑴ 社員総会
令和６年度（第４５期）定時社員総会を令和６年６月２４日に開催し、以下の議事が決議された。

項　目	内　容
日　時	令和6年6月24日（月）13時30分～14時20分
場　所	大阪科学技術センター　4F　403号室
出席者	79名（うち、書面による議決権行使66名）
議　事	⑴ 令和5年度（第44期）事業報告（報告事項） ⑵ 令和5年度（第44期）決算報告書（案）承認（決議事項） ⑶ 令和6年度（第45期）事業計画・収支予算の報告（報告事項） ⑷ 理事2名選任（決議事項）
議　長	下田　吉之

⑵ 理事会

定例理事会を３回（オンライン開催）開催、臨時理事会を１回開催し、以下の議事が承認された。

（第１回理事会）

項　目	内　容
日　時	令和6年6月3日（月）10時00分～11時20分
場　所	オンライン開催
出席者	理事９名、監事１名
議　事	⑴ 理事の交代について ⑵ 職員の処遇について ⑶ 令和6年度事業計画の変更について ⑷ 令和5年度事業報告案および決算案の承認について ⑸ 令和6年度定時社員総会の目的である事項、日時及び場所について ⑹ 各委員会委員の交代について ⑺ 会員の入会承認・退会報告の件 ⑻ 学会賞他各賞受賞者の承認について この他報告事項2件
議　長	下田 吉之

（第２回理事会）

項　目	内　容
日　時	令和6年10月31日（木）10時00分～11時30分
場　所	オンライン開催
出席者	理事11名、監事2名
議　事	⑴ 会員の入会承認および退会報告 ⑵ 令和７年度（第46期）定時社員総会開催日時等について この他報告事項2件
議　長	下田 吉之

（第３回理事会）

項　目	内　容
日　時	令和7年3月24日（月）10時00分～11時00分
場　所	オンライン開催
出席者	理事11名、監事1名
議　事	⑴ 会員の入会承認および退会報告の件 ⑵ 来年度の事業計画・予算 ⑶ 第14回学会賞等各賞の選考状況について ⑷ 特別講演会について ⑸ 各委員会委員の交代について この他報告事項3件
議　長	下田 吉之

（臨時理事会）

項　目	内　容
日　時	令和6年6月24日（月）14時25分～14時35分
場　所	大阪科学技術センター　4F　402号室
出席者	理事10名、監事1名（含むオンライン参加）
議　事	⑴ 業務執行理事選定の件
議　長	下田 吉之

⑶ 企画実行委員会
企画実行委員会では会議をオンラインで５回（５月２３日、８月２３日、１０月１７日、１２月２４日、２月２０日）開催した。

⑷ 編集実行委員会
編集実行委員会では会議をハイブリッドで６回（４月１１日、６月７日、８月２３日、９月２７日、１１月２７日、２月２１日）開催した。

⑸ 総務委員会
総務委員会では会議をオンラインで２回（５月２４日、３月１３日）、書面にて３回（１０月２２日、３月４日、３月２４日）開催した。

６．出版事業の状況
書籍「スマートエネルギーシステム」が１３冊販売され、99,000 円の収益があった。
（前年度は１３冊の販売があり、137,500 円の収益）

(参考)会員数の推移

種別	前期末 （令和6年3月31日）	今期末 （令和7年3月31日）	増減
正会員	８５５名 うちA ３１０名 B ５４５名	８３８名 うちA ３２２名 B ５１６名	△１７名 A ＋１２名 B △２９名
学生会員	９４名	１２３名	＋２９名
特別会員	109社・団体（129口）	102社・団体（121口）	△８口

以　上

（別紙２）

令和６年度（第45期）事業報告書 附属明細書

１．企　画　関　係

1－1　研究発表会

第43回エネルギー・資源学会研究発表会
［日　時］　令和6年8月6日（火）～7日（水）
［場　所］　東京大学 駒場Ⅰキャンパス
［発表時間］1件20分（講演15分、討論5分）
［発表件数］90 件
［参加者］　6日　232名，7日　230名

1－2　コンファレンス

第41回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス
［日　時］　令和7年1月28日（火）～29日（水）
［場　所］　東京大学 生産技術研究所
［共　催］　電力中央研究所、日本エネルギー経済研究所、エネルギー総合工学研究所、地球環境産業技術研究機構、
　　コージェネレーション・エネルギー高度利用センター
［協　賛］　化学工学会、日本原子力学会、日本エネルギー学会、(株)三菱総合研究所、電気学会、日本機械学会、
　　日本シミュレーション学会、公益事業学会、日本エレクトロヒートセンター
［発表時間］1件20分（講演15分、討論5分）
［発表件数］138件（ポスター発表を含む）
［参加登録者］28日　280名、29日　276名

1－3　特別講演会

第43回エネルギー・資源学会研究発表会特別講演会
［日　時］　令和6年8月6日（火）14：45～16：55
［場　所］　東京大学 駒場Ⅰキャンパス
［次　第］　＊会長挨拶
　　＊特別講演
　　1．「エネルギーレジリエンス―強化の必要性と国際標準化の意義―」　日本エネルギー経済研究所　工藤　拓毅
　　2．「大阪・関西万博の概要と脱炭素に関する取り組み」　2025年日本国際博覧会協会　川島　崇利
［参加者］　110名
［司　会］　松橋　隆治（東京大学）

第41回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス特別講演会
［日　時］　令和7年1月28日（火）16：35～17：45
［場　所］　東京大学 生産技術研究所
［次　第］　＊会長挨拶
　　＊特別講演
　　「第７次エネルギー基本計画案について」　経済産業省 資源エネルギー庁　小高　篤志
［参加者］　145名
［司　会］　秋元　圭吾（地球環境産業技術研究機構）

1－4　研究プロジェクト

研究プロジェクト「カーボンニュートラルなエネルギー需給に関する調査研究」
＊第1期（前半）令和6年4月１日～令和7年3月31日
＊調査委員会を年間10回（施設見学6回、合同開催2回等）を実施した．
　委員長　　：加藤　丈佳（名古屋大学）
　副委員長　　：小宮山 涼一（東京大学），岩田　充弘（関西電力(株)），石井　啓（東京ガス(株)）
　アドバイザー：下田　吉之（大阪大学），松橋　隆治（東京大学）
　委　員　　：20名

1－5　懇話会

第1回エネルギー政策懇話会
［日　時］　令和6年6月24日（月）14：50～17：00（懇話会），17：10～18：30（交流会）
［場　所］　大阪科学技術センター
［参加者］　47名
［テーマ］　「e-メタン，e-fuelsの意義と最新動向」
［話題提供者］　1．秋元　圭吾（地球環境産業技術研究機構）
　　2．森田　哲司（大阪ガス(株)）
［司　会］　田中　琢実（大阪ガス(株)）

第2回エネルギー政策懇話会
［日　時］　令和6年7月29日（月）15：00～17：00（懇話会），17：00～18：30（交流会）
［場　所］　東京ガス(株)本社ビル 会議室
［参加者］　40名
［テーマ］　「GX政策の展開と産業界の対応」
［話題提供者］　1．荒井　次郎（経済産業省）
　　2．内山　洋司（日本エレクトロヒートセンター）
［司　会］　前田　章（東京大学），波多江　徹（東京ガス(株)）

第3回エネルギー政策懇話会　（オンライン開催）
［日　時］　令和6年9月27日（金）15：00～17：00
［参加者］　43名
［テーマ］　「海外からのカーボンニュートラル燃料の調達・利用の展望」
［話題提供者］　1．福間　悠子（川崎重工業(株)/ハイドロジェンエンジニアリングオーストラリア）
　　2．高村　幸宏（中部電力(株)）
［司　会］　加藤　丈佳（名古屋大学），志賀　孝広（(株)豊田中央研究所）

第4回エネルギー政策懇話会
［日　時］　令和6年12月9日（月）15：00～17：00（懇話会），17：00～18：30（交流会）
［場　所］　(株)構造計画研究所 本所新館
［参加者］　25名
［テーマ］　「GX製品市場の創出に向けた取り組み―削減実績量/削減貢献量による製品GX価値構築の検討と課題―」
［話題提供者］　1．若林　伸佳（経済産業省）
　　2．醍醐　市朗（東京大学）
［司　会］　工藤　拓毅（日本エネルギー経済研究所），伊野　慎二（(株)構造計画研究所）

第5回エネルギー政策懇話会
［日　時］　令和7年1月16日（木）15：00～17：00（懇話会），17：00～18：30（交流会）
［場　所］　グランフロント大阪 北館
［参加者］　18名
［テーマ］　「スマートポール（多機能電柱）の開発と今後の展開」
［話題提供者］　1．海江田　賢一（関西電力送配電(株)）
　　2．大塚　恭正（日本電気(株)）
［司　会］　香川　公司（関西電力(株)），小杉　隆信（立命館大学）

第6回エネルギー政策懇話会
［日　時］　令和7年3月14日（金）15：00～17：00（懇話会），17：00～18：30（交流会）
［場　所］　グランパークプラザ ハイツ棟
［参加者］　18名
［テーマ］　「カーボンニュートラル社会実現のための標準化利用戦略」
［話題提供者］　1．石井　英雄（早稲田大学）
　　2．上野　将樹（本田技研工業(株)）
［司　会］　松橋　隆治（東京大学），櫻井　一貴（NTTアノードエナジー(株)）

1－6　研究部会

若手の会：ポスターセッション・グループディスカッション
＊第41回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンスで18件のポスターセッションを実施，
その後グループディスカッションを開催した．

1－7　研究委員会

家庭部門のCO_2排出実態統計調査利用
＊第41回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンスで企画セッションを開催した．

カーボンニュートラル社会実現のための標準化戦略
＊「カーボンニュートラルのための標準化戦略・人材育成事業セミナー」を開催した（ハイブリッド開催）．
［日　時］　令和7年2月3日（月）15：00～17：00
［場　所］　東京大学 本郷キャンパス 工学部2号館
［テーマ］　「我が国の国際標準化戦略を強化するための体制構築」
［参加者］　19名（会場 17名／オンライン 2名）
［次　第］　＊特別講演「日本型標準化加速モデルについて」
　　＊講師

経済産業省	吉成　崇宏
産業環境管理協会	大野　香代
日本エネルギー経済研究所	工藤　拓毅
エネルギー総合工学研究所	黒沢　厚志
東京大学	松橋　隆治

［司　会］　松橋　隆治（東京大学）

1－8　講習会

第1回講習会
［日　時］　令和7年2月6日（木）13：00～17：00
［場　所］　東京大学 本郷キャンパス 工学部3号館
［参加者］　23名

［テーマ］　「原子力エネルギー・次世代革新炉の概要」

［次　第］　1．原子力エネルギー総論	東京大学	岡本　孝司
2．高温ガス炉による大規模水素製造技術の開発	日本原子力研究開発機構	野口　弘喜
3．高速炉の概要	日本原子力研究開発機構	山野　秀将
4．NuScale VOYGR™の技術概要と日揮グループの取組	日揮グローバル(株)	岡本　圭太
5．革新軽水炉“SRZ®-1200”開発の取組み	三菱重工業(株)	木村　芳貴
6．フュージョンエネルギー（核融合）開発の現状と課題	エネルギー総合工学研究所	都筑　和泰

［司　会］　小宮山　涼一（東京大学）

1－9　研究会・見学会

第1回研究会（見学会併催）
［日　時］　令和7年3月28日（金）12：35～18：00
［場　所］　(株)JERA 碧南火力発電所
［参加者］　25名
［テーマ］　「JERA碧南火力発電所アンモニア転換実証試験」
［コーディネーター］　田中　宏幸（中部電力(株)）

1－10　エネルギー施設の災害・安全対策研究会

2024年度エネルギー施設の災害・安全対策研究会
［日　時］　令和6年12月6日（金）11：00～16：40
［場　所］　＊福島第一原子力発電所
＊東京電力廃炉資料館
［参加者］　14名
［テーマ］　「福島第一原子力発電所見学」
［コーディネーター］　工藤　拓毅（日本エネルギー経済研究所）

1－11　共催行事

廃棄物資源循環学会　春の研究討論会
（ハイブリッド開催）
［日　時］　令和6年5月30日（木）
［場　所］　川崎市産業振興会館
［主　催］　廃棄物資源循環学会 廃棄物計画研究部会

第62回燃焼シンポジウム
［日　時］　令和6年11月25日（月）～27日（水）
［場　所］　大阪国際会議場（グランキューブ大阪）
［主　催］　日本燃焼学会

原子力総合シンポジウム2024
（ハイブリッド開催）
［日　時］　令和7年1月20日（月）
［場　所］　日本学術会議講堂
［主　催］　日本学術会議　総合工学委員会　原子力安全に関する分科会

1－12　企画実行委員会（茅賞・学生発表賞選考委員会）

第1回企画実行委員会
（オンライン開催）
［日　時］　令和6年5月23日（木）
［出席者］　23名
［座　長］　松橋　隆治

第2回企画実行委員会
（オンライン開催）
［日　時］令和6年8月23日（金）
［出席者］25名
［座　長］松橋　隆治

第3回企画実行委員会
（オンライン開催）
［日　時］令和6年10月17日（木）
［出席者］22名
［座　長］松橋　隆治

第4回企画実行委員会
（オンライン開催）
［日　時］　令和6年12月24日（火）
［出席者］　19名
［座　長］　松橋　隆治

第5回企画実行委員会
（オンライン開催）
［日　時］令和7年2月20日（木）
［出席者］19名
［座　長］松橋　隆治

（注）第2回、第5回企画実行委員会は、茅賞・学生発表賞選考委員会（座長：松橋　隆治）を併催。

2．編　集　関　係

2－1　会誌「エネルギー・資源」・電子ジャーナル「エネルギー・資源学会論文誌」の刊行

通巻265号（5月号）　　令和6年5月10日刊行（本文57頁）
［特集］進展する熱電変換技術
（1）特集にあたって　　産業技術総合研究所　安田　和明
山本　　淳

(2) 熱電発電の社会実装に向けた材料・モジュール・評価技術の開発　産業技術総合研究所　太田　道広
今里　和樹
大川顕次郎
天谷　康孝
(3) カーボンニュートラルへの省エネ貢献およびセンサ用独立電源として活用可能な革新的熱電材料・デバイスの開発　物質・材料研究機構　森　孝雄
(4) 工場排熱を電力回生する熱電発電製品　KELK　村瀬　隆浩
後藤　大輔
牧野　一也
(5) 工場排熱を活用するkW級熱電発電システム　ヤンマーホールディングス　玉木　脩二
黒岩　芳佳
鵜飼　洋史
中川　修一
ヤンマー eスター　福留　二朗
(6) 水蒸気潜熱回収型熱電発電システムの開発　白山　内田健太郎
(7) 秋田県における熱電発電システムの導入事例　ロイヤルパーツ　柴田　努

＊論文掲載件数
研究論文1件

通巻266号（7月号）　令和6年7月10日刊行（本文61頁）

［特集］まちづくりGX最前線
(1) 特集にあたって　茨城大学　吉田友紀子
筑波大学　岡島　敬一
(2) まちづくりGX ～まちづくりのグリーン化におけるエネルギーの面的利用について～　国土交通省　菊池　雅彦
(3) GX時代のエネルギー企業が地域と共に育むまちづくり　関西電力　高宮　紀子
(4) 地域視点で成長可能な脱炭素を協創する「大みかグリーンネットワーク」の取組み　日立製作所　入江　直彦
(5) 脱炭素社会を目指したまちづくり ～八重洲スマートエネルギーネットワークの構築～　東京ガス　鈴木　淳史
(6) 建設業界におけるGHG排出量の見える化　住友林業　掛上　恭
(7) 脱炭素社会に向けた開発と取組みについて　竹中工務店　伊勢田　元

＊論文掲載件数
研究論文4件、技術論文1件

通巻267号（9月号）　令和6年9月10日刊行（本文66頁）

［特集］二酸化炭素分離・回収技術の新展開
(1) 特集にあたって　ファンクショナル・フルイッド　藤岡　惠子
(2) CO_2回収・利用事業の現状～ 排ガスCO_2回収技術について　三菱重工業　上條　孝
(3) 化学吸着：外部電位制御による二酸化炭素の吸脱着のための材料開発　早稲田大学　七種　紘規
関根　泰
(4) 化学固定：統合化固定・反応系による大気中CO_2回収　東北大学　福島　康裕
(5) 希薄CO_2回収を実現する促進輸送膜の開発　産業技術総合研究所　牧野　貴至
河野　雄樹
(6) 岩石風化促進の技術開発における課題と展望　早稲田大学　中垣　隆雄
(7) 我が国におけるCCS政策の状況と課題　経済産業省　佐伯　徳彦

＊論文掲載件数
研究論文3件、技術論文2件

通巻268号（11月号）　令和6年11月10日刊行（本文65頁）

［特集］原子力エネルギーの研究開発と人材育成
(1) 特集にあたって　東京大学　藤井　康正
(2) 高温ガス炉による水素製造　日本原子力研究開発機構　坂場　成昭
(3) 小型モジュール型軽水炉（SMR）の研究開発　エネルギー総合工学研究所　都筑　和泰
(4) 高速炉の研究開発　東京大学　高田　孝
(5) 核融合炉の研究開発　東京大学　山田　弘司
(6) 核変換技術の研究開発　日本原子力研究開発機構　西原　健司
(7) 原子力への理解促進活動と原子力産業界の人材確保・育成　日本原子力産業協会　喜多　智彦

＊論文掲載件数
研究論文2件、技術論文1件

通巻269号（1月号）　令和7年1月10日刊行（本文61頁）

［特集］バイオものづくり最前線
(1) 特集にあたって　大阪公立大学　炭谷　順一
(2) 次世代の産業基盤となるバイオものづくり　バイオインダストリー協会　中川　智
(3) ロボティクスとAIを駆使したスマートセル開発　バッカス・バイオイノベーション　丸山　正晴
竹中　武藏
(4) バイオ由来製品の社会実装促進を目指した RITE発バイオものづくりプラットフォーム　地球環境産業技術研究機構　久保田　健
乾　将行
(5) CO_2を直接原料とするバイオものづくりへの挑戦　日揮ホールディングス　大渕　貴之
(6) 木質由来のバイオマスプラスチック・バイオ燃料開発　王子ホールディングス　野口　裕一
(7) 海外におけるバイオリファイナリー事業の動向　カーボンニュートラル燃料技術センター　原　浩昭

［新春座談会］エネルギーと環境から見る食のサステナビリティ

電力中央研究所	木村　宰
東邦大学	杉本　南
PwCコンサルティング	相川　高信
スマートブルー	塩原太一郎
（司会）東京大学	吉田　好邦
（司会）自然エネルギー財団	高瀬　香絵

＊論文掲載件数
研究論文6件、技術論文3件

通巻270号（3月号）　　令和7年3月10日刊行（本文67頁）

［特集］日本型標準加速化モデルに関する最近の動向と今後の見通し

(1) 日本型標準加速化モデルとカーボンニュートラル社会のための標準化戦略研究会の動向と今後の見通し	東京大学	松橋　隆治
(2) 電力システムのトランジッションを背景とする国際標準化の動向と日本の取組み	早稲田大学	石井　英雄
(3) カーボンリサイクル燃料に対するCO_2カウントルールの国際標準化をめぐる動向と対応 －e-methaneの場合	日本ガス協会	工月　良太 小原　充裕
(4) 環境計測の国際標準化	産業環境管理協会	大野　香代
(5) EVの電力色付け技術の概念実証およびカーボンニュートラルに向けた今後の展望	本田技研工業	上野　将樹 佐々木正法 新崎　知
(6) 水素を巡る最近の動向－戦略，標準化を中心に	日本規格協会	小林　直哉

＊論文掲載件数
研究論文5件、技術論文1件

2－2　編集実行委員会（査読委員会、論文賞選考委員会）

第1回編集実行委員会
（ハイブリッド開催）
［日　時］　令和6年4月11日（木）
［場　所］　電力中央研究所
［出席者］　23名
［座　長］　岡島　敬一

第2回編集実行委員会
（ハイブリッド開催）
［日　時］令和6年6月7日（金）
［場　所］電力中央研究所
［出席者］26名
［座　長］岡島　敬一

第3回編集実行委員会
（ハイブリッド開催）
［日　時］令和6年8月23日（金）
［場　所］電力中央研究所
［出席者］19名
［座　長］岡島　敬一

第4回編集実行委員会
（ハイブリッド開催）
［日　時］　令和6年9月27日（金）
［場　所］　電力中央研究所
［出席者］　17名
［座　長］　岡島　敬一

第5回編集実行委員会
（ハイブリッド開催）
［日　時］令和6年11月27日（水）
［場　所］三菱電機関西支社
［出席者］24名
［座　長］岡島　敬一

第6回編集実行委員会
（ハイブリッド開催）
［日　時］令和7年2月21日（金）
［場　所］電力中央研究所
［出席者］21名
［座　長］岡島　敬一

（注1）編集実行委員会の前半に査読委員会（座長：吉田　好邦）を毎回開催。
（注2）第4回、第6回編集実行委員会は、論文賞選考委員会（座長：吉田　好邦）を併催。

3．総　務　関　係

3－1　表彰

令和６年度表彰式
［日　時］　令和6年8月6日（火）14:00～14:25
［場　所］　東京大学 駒場Ｉキャンパス 900 番教室（講堂）

第13回学会賞
＊該当なし

第13回学会貢献賞（表彰2件）
＊（業　績）「長年にわたる編集実行委員，査読委員の活動および同時投稿制度導入による論文投稿件数増加への貢献」
（受賞者）永田　豊（電力中央研究所）
＊（業　績）「ワークショップ創設当初から企画・運営を受け継いできたことによる貢献」
（受賞者）ワークショップ幹事団

第12回茅賞（表彰2件）
＊（業　績）「V2G による周波数調整の実証とV2G 機器の最適配置に関する研究」
（受賞者）松藤　圭亮（東京大学）
＊（業　績）「1,741 市区町村を統合した分散協調型・脱炭素エネルギーシステムの設計と解析」
（受賞者）小野寺　弘晃（東北大学）

第12回学生発表賞（表彰4件）
＊（業　績）「冷熱蓄熱システムの実時間最適制御による電力系統安定化への貢献に関する研究」
（受賞者）水野　竣介（東京大学）

＊（業　績）「時空間の負荷分散を考慮したデータセンターのデマンドレスポンスの評価」
（受賞者）直井　宏樹（東北大学）
＊（業　績）「Using temporal aggregation to reduce computational needs of near-optimal feasible space of renewable energy system models」
（受賞者）Eva Simarik（東北大学）
＊（業　績）「大規模言語モデルによる物語生成と環境コミュニケーションに関する研究」
（受賞者）秋本　哲夫（東京大学）

第20回論文賞（表彰2件）
＊（業　績）「災害の予測可能性を考慮した近似確率動的計画モデルによる分散型エネルギーシステムのレジリエンスに関する定量的分析」
（受賞者）西倉　寛太、小宮山　涼一、藤井　康正（東京大学）
＊（業　績）「スパースモデルを用いたJEPX スポット市場価格の予測および要因分析」
（受賞者）金子　奈々恵（早稲田大学）、井上　智弘（電力中央研究所）

３－２　総務委員会

第1回総務委員会
（オンライン開催）
［日　時］　令和6年5月24日（金）
［出席者］　8名
［座　長］　浜田　誠一郎

第2回総務委員会
（書面開催）
［日　時］　令和6年10月22日（火）
［出席者］　8名
［座　長］浜田　誠一郎

第3回総務委員会
（オンライン開催）
［日　時］　令和7年3月13日（木）
［出席者］　10名
［座　長］　浜田　誠一郎

臨時総務委員会
（書面開催）
［日　時］　令和7年3月4日（火）
［出席者］　8名
［座　長］浜田　誠一郎

臨時総務委員会
（書面開催）
［日　時］　令和7年3月24日（月）
［出席者］　8名
［座　長］　浜田　誠一郎

以　上